

4. 旧笹川洪水浸水想定区域図について

【1.解析条件の変更点・更新点】

●最新マニュアルに対応した浸水解析

項目	前回公表の 浸水想定区域図	今回公表の洪水浸水想定区域図	
		計画規模	想定最大規模
降雨条件 (年超過確率)	351mm/24hr : 旧笹川 (1/80)	351mm/24hr : 旧笹川 (1/80)	747mm/24hr : 旧笹川 (1/1,000以上)
降雨波形	S23.9.実績降雨	S23.9.実績降雨	名取川浸水想定区域図作成の対象降雨群及び旧笹川の対象降雨群の17洪水より被害最大となる波形を選定 S57.9. I型降雨
解析メッシュサイズ	50mメッシュ (旧笹川)	25m×25mメッシュ	
流量の与え方	流量配分に基づき流量 を入力	河道の流下能力、地形状況を勘案し、 適切な流量を考慮して入力	
浸水深の表示方法	50mメッシュ地盤高 による表示	5mメッシュ地盤高による表示	
公表する情報	浸水深、浸水区域のみ	浸水深、浸水区域に加え、浸水継続時間と 家屋倒壊のおそれがある区域も公表	

【1.解析条件の変更点・更新点】

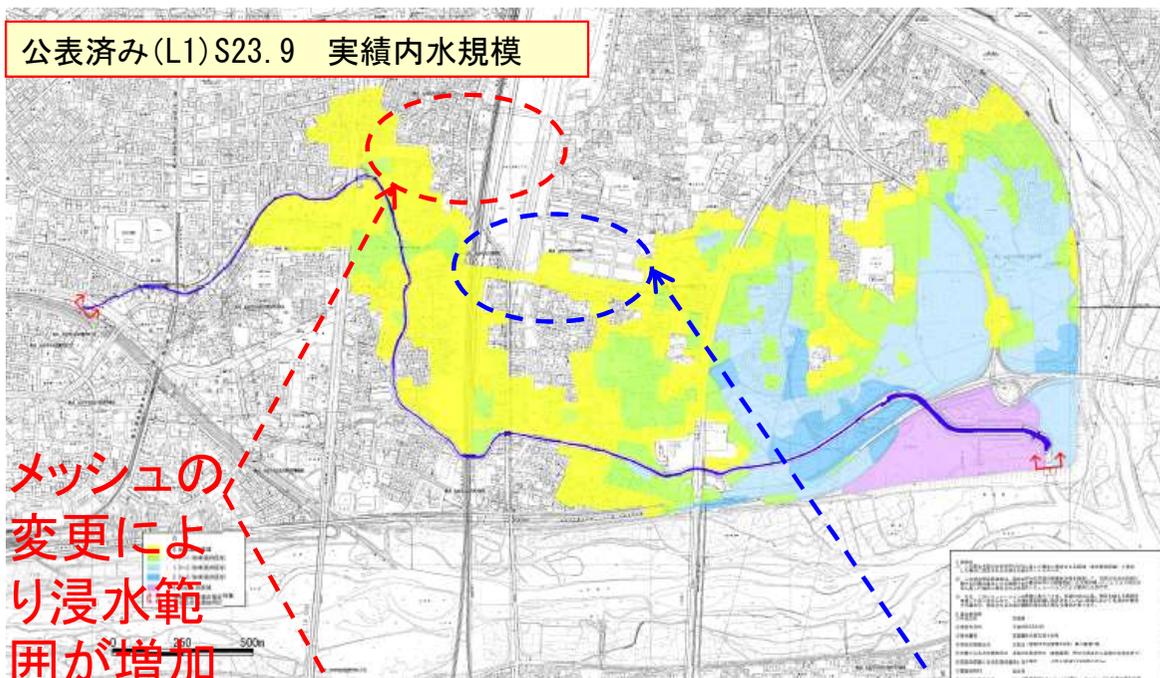
● 氾濫原情報の更新

前回公表時点より、新規に検討する浸水継続時間を考慮するため、解析モデルに域外排水となるポンプ施設及び旧笹川の樋門条件を取り込んでいます。

項目		公表済み浸水想定区域図	今回作成 想定最大洪水浸水想定区域図
計算条件	土地利用状況の考慮	計算メッシュにおける粗度係数として考慮 (平成23年震災以後の航空レーザ測量データ 平成24年3月 国土地理院 5m地盤高データ)	想定マニュアル(平成29年10月考慮)に準拠 なお、地盤高は、近年地盤高を大きく改変した状況がみられないことから、名取川の浸水想定区域図で用いた地盤高と整合を図る。 (平成23年震災以後 航空レーザ測量データ) ※用いているレーザ測量成果は同等(震災以後)
	モデル化を行う河川	・旧笹川(旧笹川樋門~4.6k(笹川分派点))	・旧笹川(旧笹川樋門~4.6k(笹川分派点))
	上流及び横流入支川の氾濫の扱い	氾濫せず全量が流入するものとして設定	・氾濫せず全量が流入するものとして設定 全5水路の内、1水路は、断面が存在するが、設定範囲内で内水域の浸水となり、浸水範囲の概ね同等となる。また、残る水路断面も存在しないことを鑑み、水路設定は実施しない。 ※仙台市回答結果に基づくもの
	氾濫原モデルに反映する構造物	JR東北本線, 自動車専用道路, その他の道路(50cm以上の比高差を考慮)	JR東北本線, 自動車専用道路, その他の道路(幅員5.5m以上: 道路DRMデータを基本)
	排水施設	ポンプ排水: 考慮していない 樋門排水: 考慮していない	(最大浸水深) ・同左 (浸水継続時間への考慮) ・ポンプ排水: 旧笹川に流入する対象施設なし。 ※仙台市回答結果に基づくもの : 広瀬川、名取川への域外排水ポンプを考慮 ・樋門排水: 旧笹川樋門等の排水考慮する。

【2公表済みと今回作成洪水浸水想定区域図(L1)の比較(旧笹川)】

公表済み(L1)S23.9 実績内水規模

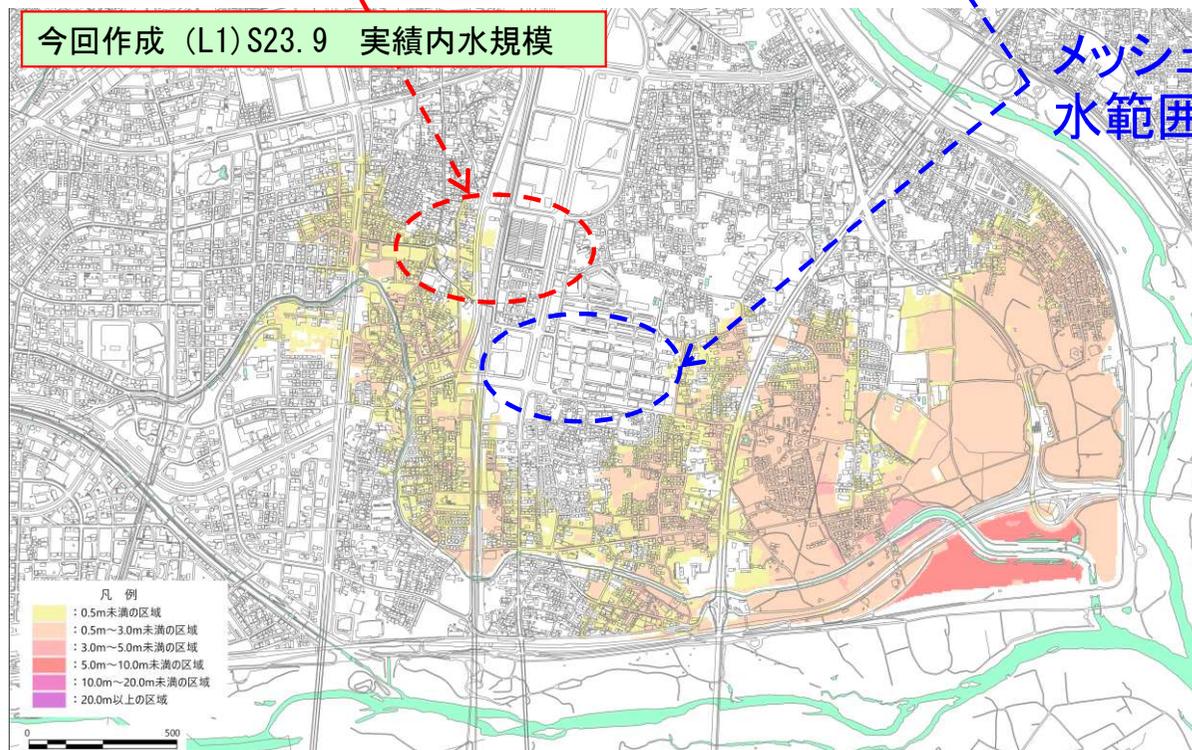


メッシュの変更により浸水範囲が増加

氾濫メッシュの細分化による浸水範囲の変化

- ・計算メッシュを50mから25mに変更することにより、微細地形が反映され、氾濫の広がりが異なる。

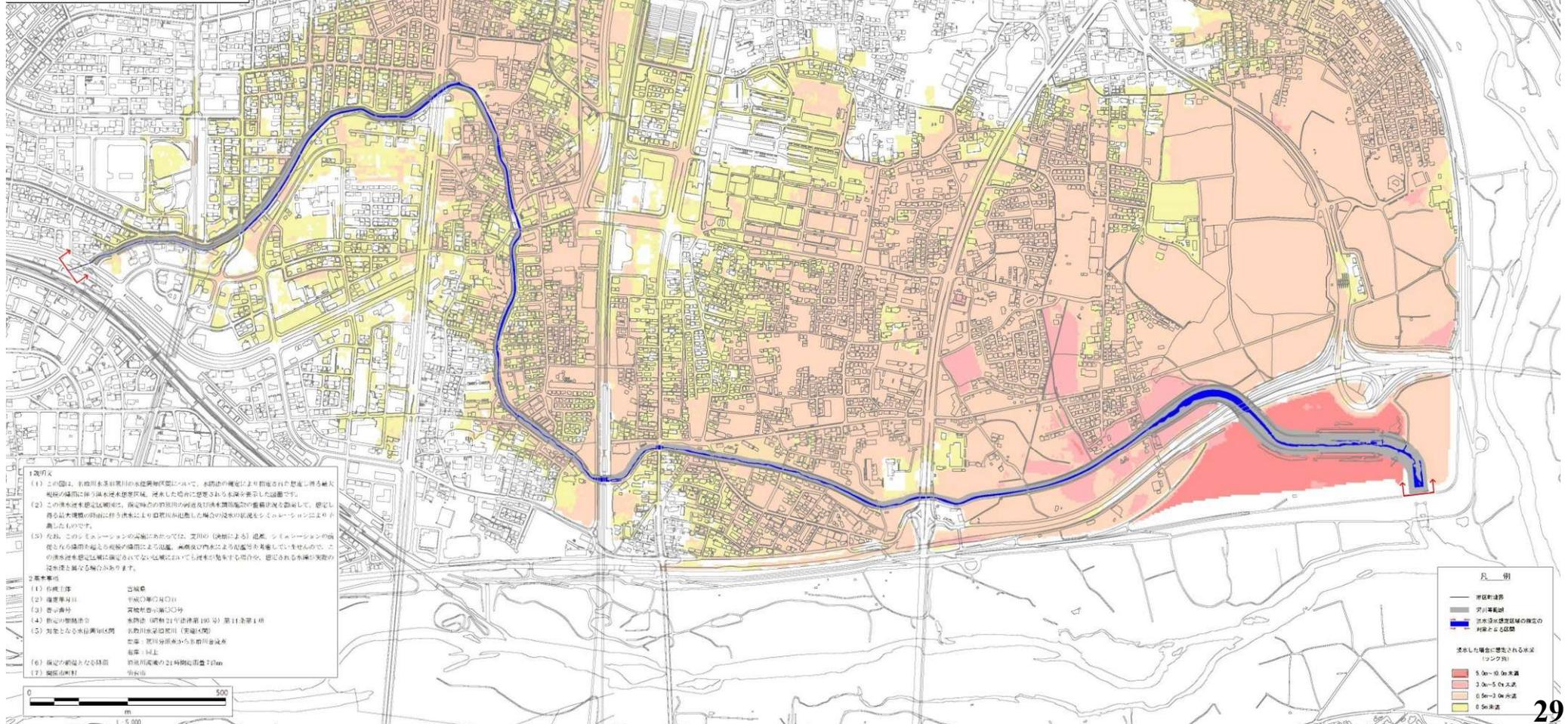
今回作成 (L1)S23.9 実績内水規模



メッシュの変更により浸水範囲が減少

【3.旧策川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）】

名取川水系旧策川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1 説明文

- この図は、名取川水系旧策川の水浸水想定区域について、水防法の規定により想定される想定最大規模の浸水想定区域を示す洪水浸水想定区域図、浸水した場合には想定される水深を示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、想定時刻の旧策川の水位及び河床断面図を基礎図面として、想定される最大規模の洪水により旧策川が氾濫した場合の浸水の状況をもとにコンピュータにより作成した図面です。
- なお、このコンピュータによる図面の作成にあたっては、実際の（地形による）地盤、コンピュータによる浸水の計算結果との相違の幅が想定されています。高水位の発生による浸水想定を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図は確定されていない区域においても浸水が発生する可能性があります。浸水想定区域図の浸水想定と異なる場合があります。

2 基本事項

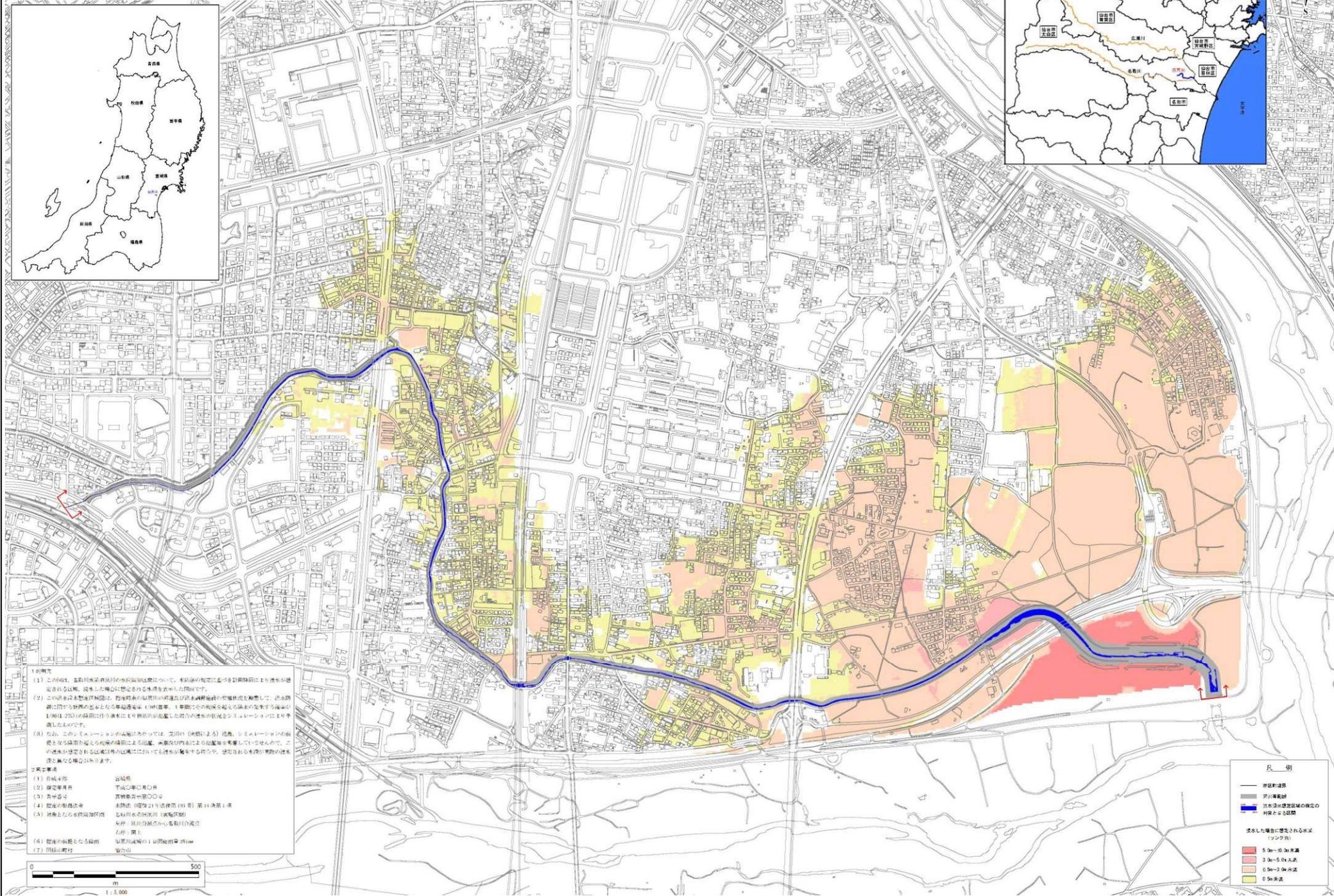
- 作成主体 宮城県
- 調査年度 平成27年度
- 調査対象 宮城県宮城郡名取町
- 制定時期 平成27年10月
- 制定となる法律 名取川水系旧策川（支線）河川整備計画（宮城県）
- 制定となる関係法令 河川法、河川法施行令、河川法施行規則
- 制定の範囲 名取川水系旧策川
- 関係自治体 宮城県

凡 例

—	河川断面図
—	河川断面図
—	洪水浸水想定区域の確定の 対象となる区域
■	浸水した場合に想定される水深 (1センチ刻)
■	5.0m~10.0m未満
■	3.0m~5.0m未満
■	0.5m~3.0m未満
■	0.5m未満

【4.旧策川 洪水浸水想定区域図（計画規模）】

名取川水系旧策川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



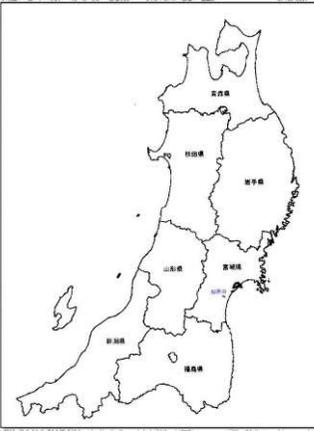
1. 概要
 (1) 本図は、名取川水系旧策川の洪水浸水想定区域について、準計画規模に基き計画期間により洪水の想定される区域、浸水した場合は想定される浸水高を示したものである。
 (2) この図は本図の洪水浸水想定区域と、計画期間中の河川利用の状況及び治水対策の進捗状況を勘案して、洪水想定区域の範囲の拡大となる等幅過半数（8割）超、1年間に1回の発生を想定する等の条件（1/100）の超過に付合連率により計画期間中に発生した想定される洪水の浸水高を示したものである。
 (3) なお、このシミュレーションの範囲にあつては、河川（計画による）沿道、シミュレーションの範囲と合致しない河川の沿道による浸水、堤防及び門柱による浸水等も考慮していませんので、この浸水高に想定される浸水区域の範囲については浸水が発生する可能性がある。浸水される河川の範囲の浸水高は別途の図で示されています。

2. 図例
 (1) 自治体界 自治体界
 (2) 指定河川界 河川準計画界
 (3) 河川準計画界 河川準計画界
 (4) 河川準計画界 河川準計画界
 (5) 河川準計画界 河川準計画界
 (6) 河川準計画界 河川準計画界
 (7) 河川準計画界 河川準計画界

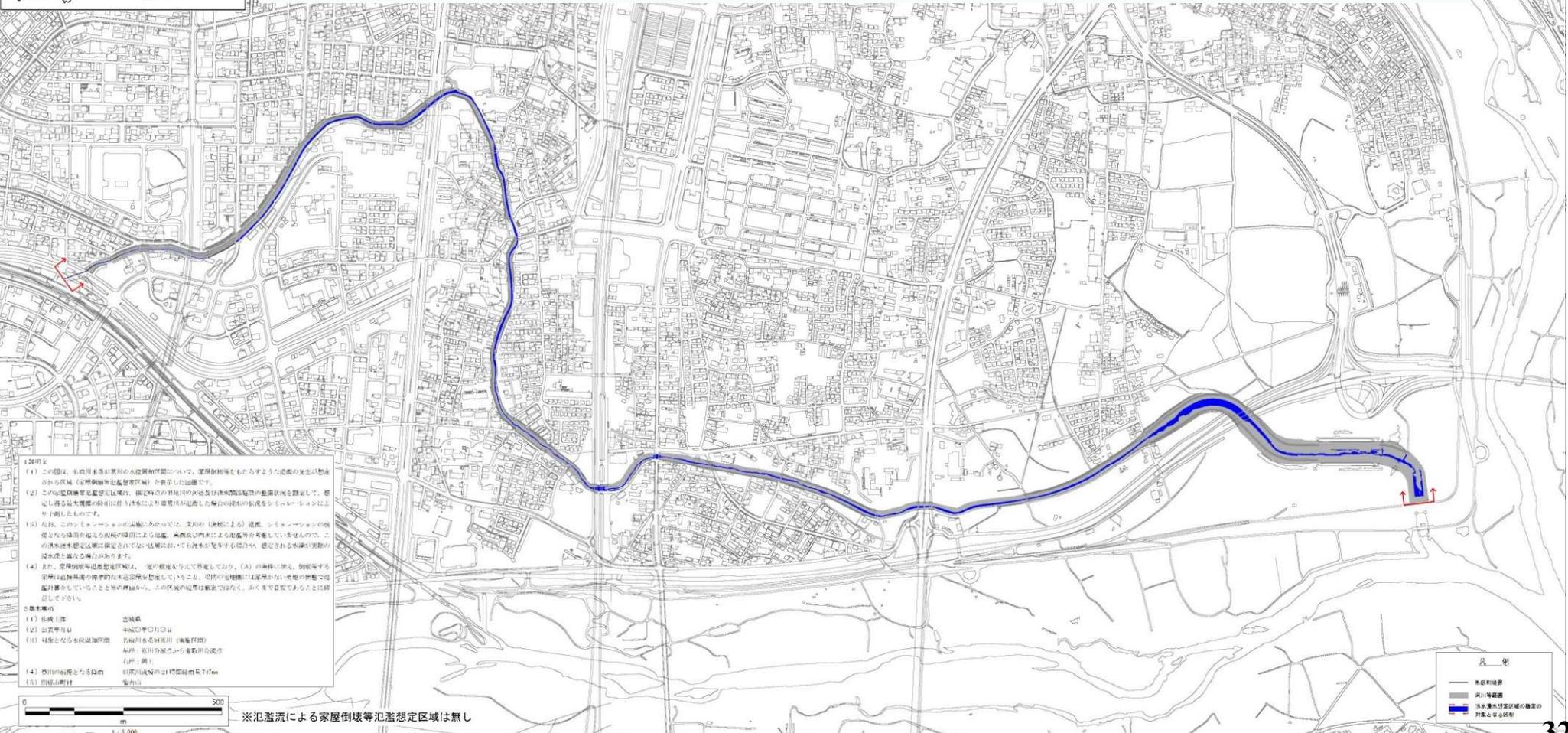
図例
 準計画河川界
 河川準計画界
 洪水浸水想定区域の想定される浸水高
 (1/100)
 5.0m-10.0m未満
 3.0m-5.0m未満
 0.5m-3.0m未満
 0.5m未満

【 6.旧笹川洪水浸水想定区域図 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流） 】

名取川水系旧笹川 洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））



家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）について、該当する箇所はありませんでした。



- 1 説明文
- (1) この図は、旧笹川水系旧笹川の本流敷設計画について、定界制排水をもちょうりた造成の想定が想定された区域（定界制排水氾濫想定区域）を示すものであります。
 - (2) この定界制排水氾濫想定区域は、想定時点の旧笹川の河床及び排水設備の整備状況を踏まえて、想定し得る洪水規模の降雨に対する洪水により旧笹川が氾濫した場合の洪水の浸水シミュレーションにより算出したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの算出にあたっては、実際の（地形による）造成、シミュレーションの算出となる降雨不浸透率等の条件による氾濫、高水及び内水による氾濫等を含め想定していませんので、この洪水浸水想定区域は想定された氾濫想定区域に限り適用ができません。想定される実際の氾濫の浸水範囲と異なる場合があります。
 - (4) また、定界制排水氾濫想定区域は、一定の想定をもちょうりたものであり、(3) の条件に照し、別図等による定界制排水設備の整備的な想定変更を想定していること、河床の定地盤には定界制排水設備の整備で計画されていること等の理由から、この区域の氾濫は氾濫想定区域となく、あくまで氾濫であることに留意していただく。
- 2 基本事項
- | | |
|---------|-----|
| (1) 旧笹川 | 旧笹川 |
| (2) 旧笹川 | 旧笹川 |
| (3) 旧笹川 | 旧笹川 |
| (4) 旧笹川 | 旧笹川 |
| (5) 旧笹川 | 旧笹川 |

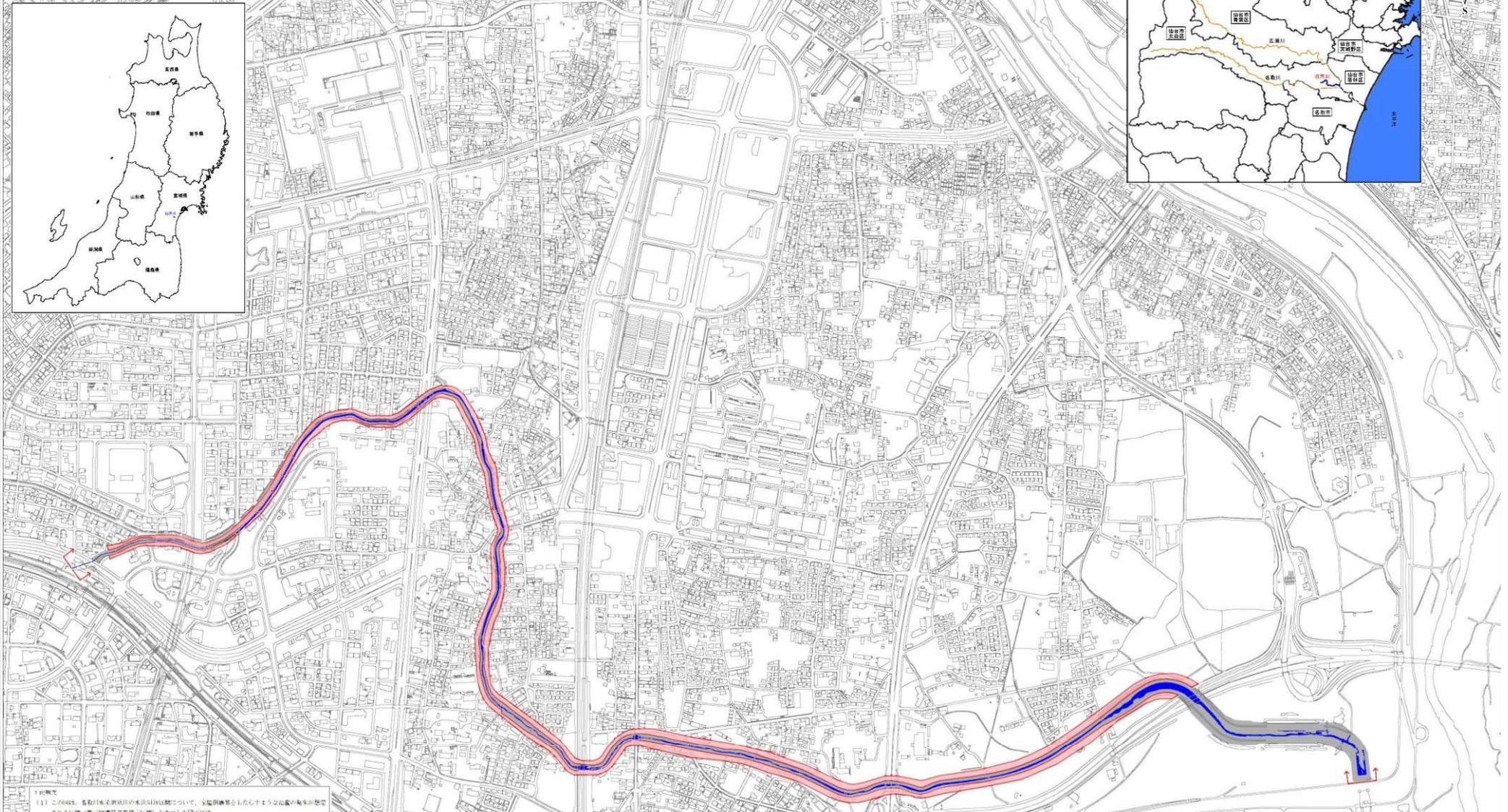
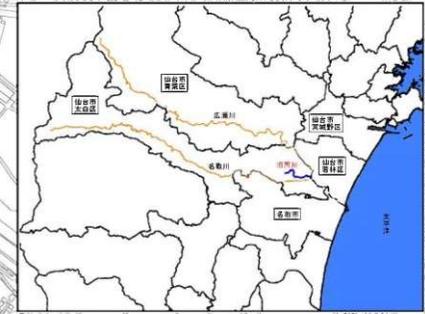
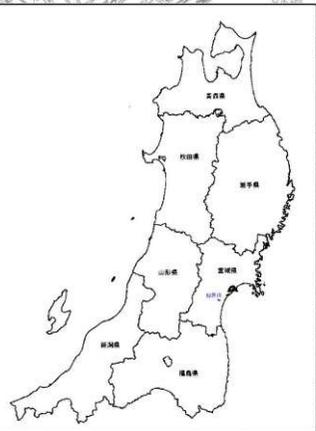
※氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域は無し

凡 例

- 旧笹川
- 新笹川
- 定界制排水氾濫想定区域
- 定界制排水氾濫想定区域の確定の位置と定界制

【 7.旧笹川洪水浸水想定区域図 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）】

名取川水系旧笹川 洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食））



1 説明文

(1) この図は、名取川水系旧笹川の河川沿道について、家屋倒壊等おこるような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を定めたものである。

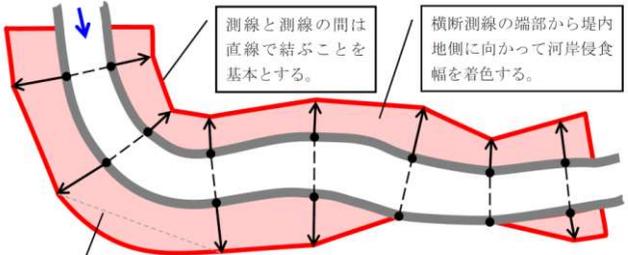
(2) この図は、河川沿道に発生する氾濫による家屋倒壊等おこる区域を想定するにあたって、想定し得る最大規模の氾濫に相当する河川水位の上昇率を基礎とした河川水位の上昇率に基づき算出したものである。

(3) また、河川沿道等危険な区域は、河川沿道が浸水した場合には、家屋の倒壊・流出等の危険性が非常に高くなるが、河川の浸水による被害は、河川の浸水による被害に比べて、この区域の被害は軽微である。あくまでも目安であることに留意して下さい。

2 基本事項

(1) 河川沿道 河川沿道
 (2) 河川沿道 河川沿道
 (3) 河川沿道 河川沿道
 (4) 河川沿道 河川沿道
 (5) 河川沿道 河川沿道

0 500
 m
 1 : 5,000



- : 堤防法線位置
- : 定期横断測線位置
- : 河岸侵食による家屋倒壊危険ゾーン